

# 信濃川

2026

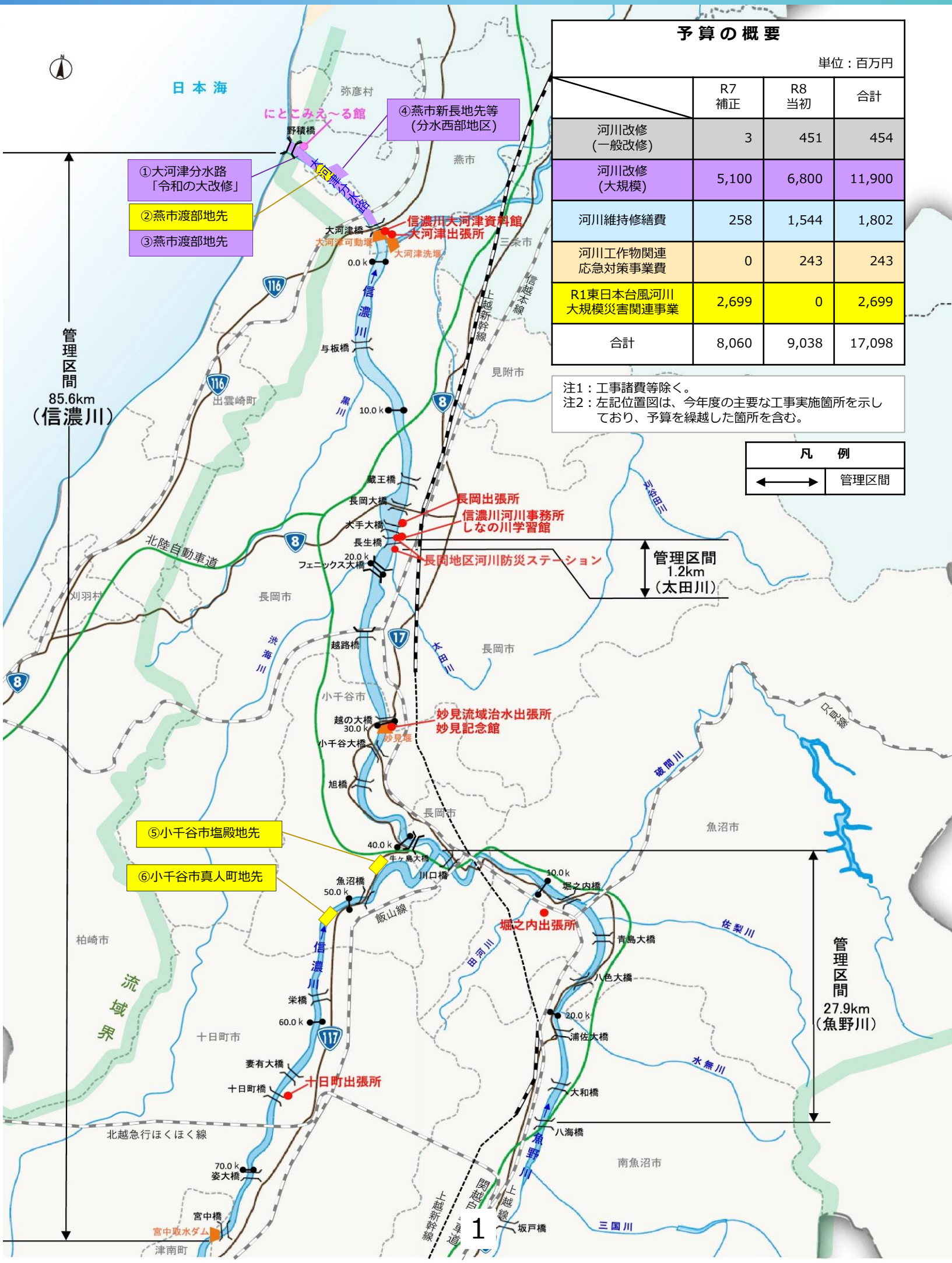
事業概要



国土交通省 北陸地方整備局  
信濃川河川事務所



# 令和8年度 主要事業の位置図



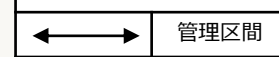
## 予算の概要

単位：百万円

	R7 補正	R8 当初	合計
河川改修 (一般改修)	3	451	454
河川改修 (大規模)	5,100	6,800	11,900
河川維持修繕費	258	1,544	1,802
河川工作物関連 応急対策事業費	0	243	243
R1東日本台風河川 大規模災害関連事業	2,699	0	2,699
合計	8,060	9,038	17,098

注1：工事諸費等除く。  
注2：左記位置図は、今年度の主要な工事実施箇所を示しており、予算を繰越した箇所を含む。

### 凡 例



管理区間  
85.6km  
(信濃川)

管理区間  
1.2km  
(太田川)

管理区間  
27.9km  
(魚野川)

- ①大河津分水路「令和の大改修」
- ②燕市渡部地先
- ③燕市渡部地先

④燕市新長地先等  
(分水西部地区)

⑤小千谷市塩殿地先

⑥小千谷市真人町地先

流域界

# 令和8年度 主要事業の概要

大河津分水路

山地部及び低水路掘削、第二固改築、野積橋架替等

○事業期間 平成27年度～令和20年度

## ①大河津分水路「令和の大改修」

大河津分水路より上流側に位置する信濃川(中流部)や千曲川をはじめ、信濃川水系全体の洪水処理能力を向上させるため、最下流に位置する大河津分水路において平成27年度より事業に着手しています。

千曲川や信濃川(中流域)に甚大な被害をもたらした令和元年東日本台風洪水と同規模の洪水が発生しても、堤防の決壊、越水等による被害の防止又は軽減を図るため、令和4年12月に信濃川水系河川整備計画を変更し、低水路掘削範囲を追加する事業計画の変更を行いました。

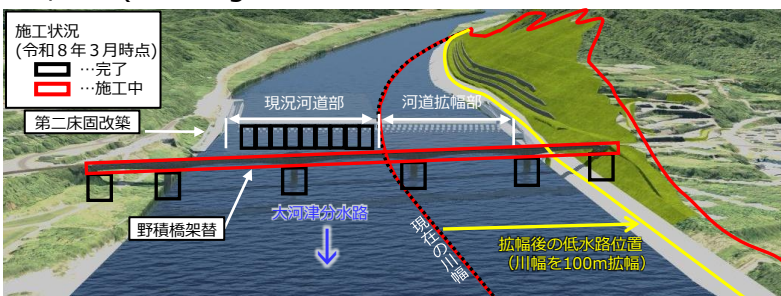
「令和の大改修」では、課題となっている洪水処理能力向上や河床の安定、老朽化施設の対策として、山地部及び低水路掘削、第二床固改築、野積橋架替等を実施します。



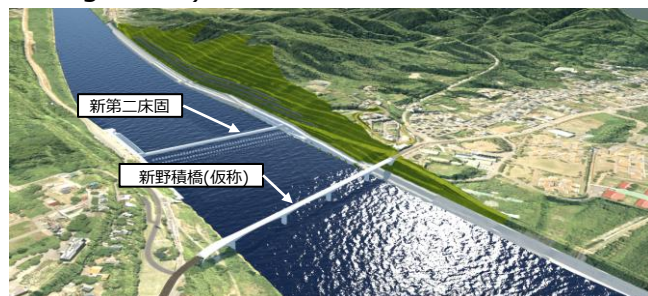
令和8年度は、山地部及び低水路掘削、第二床固改築、野積橋架替等を引き続き推進します。

なお、山地部の掘削土は、「大河津分水が“ひらく”地域活性化プロジェクト」として、堤防の強化に活用している他、地域の活性化につながる周辺自治体の事業への有効活用を行っています。

また、大河津分水路「令和の大改修」では、効率的・効果的な施工を進めるため、BIM/CIM(Building and Construction Information Modeling / Management)の導入を行っています。



BIM/CIMによる大河津分水路「令和の大改修」完成予想図 (河口より上流を望む)



大河津分水路 完成イメージ



河口付近の状況 (撮影日: 令和8年2月26日)



新第二床固 現況河道部の状況 (撮影日: 令和8年2月26日)



新野積橋(仮称) 架替施工の状況 (撮影日: 令和8年2月26日)



山地部掘削の状況 (撮影日: 令和8年2月26日)

# 令和8年度 主要事業の概要

## 大河津分水路

### 河道掘削

### 河道掘削

#### ① 大河津分水路「令和の大改修」

#### ② 燕市渡部地先

令和元年東日本台風時に計画高水位を超過し、非常に危険な状態となった大河津分水路の河道を掘削し洪水処理能力を向上させます。

令和8年度は、昨年度に引き続き、河道（低水路）の掘削を行います。



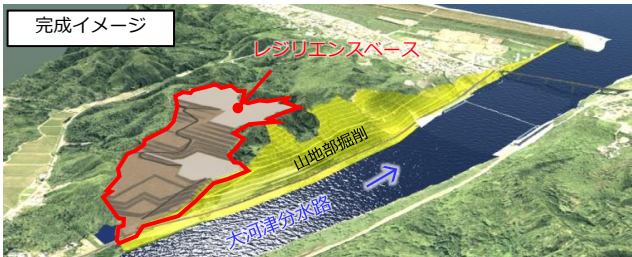
## 大河津分水路

### 掘削土活用

#### ③ 燕市渡部地先

大河津分水路改修事業の進捗に伴い、発生土の新たな運搬先として、レジリエンススペースの整備を実施します。

令和8年度は、盛土対象箇所の樹木伐採及び地質改良を行います。



## 大河津分水路

### 掘削土活用

#### ④ 燕市新長地先等 (分水西部地区)

堤防の安全性を向上させることを目的に、堤防の断面を大きくする堤防強化（浸透対策）を行っています。また、分水西部地区の低く冠水リスクの高い田んぼにて、「令和の大改修」で掘削した土を活用した盤上げを行っています。

令和8年度は、昨年度に引き続き、分水西部地区（盤上げ）整備等を行います。



# 令和8年度 主要事業の概要

## 信濃川 遊水地

### ⑤ 小千谷市塩殿地先 しおどの

令和元年東日本台風時に計画高水位を超過し、非常に危険な状態になったことから、洪水を一時貯留する遊水地を整備し、洪水時の水位を低下させます。

令和8年度は、引き続き囲繞堤、排水樋門、仕切堤等の施工を進めていく予定です。

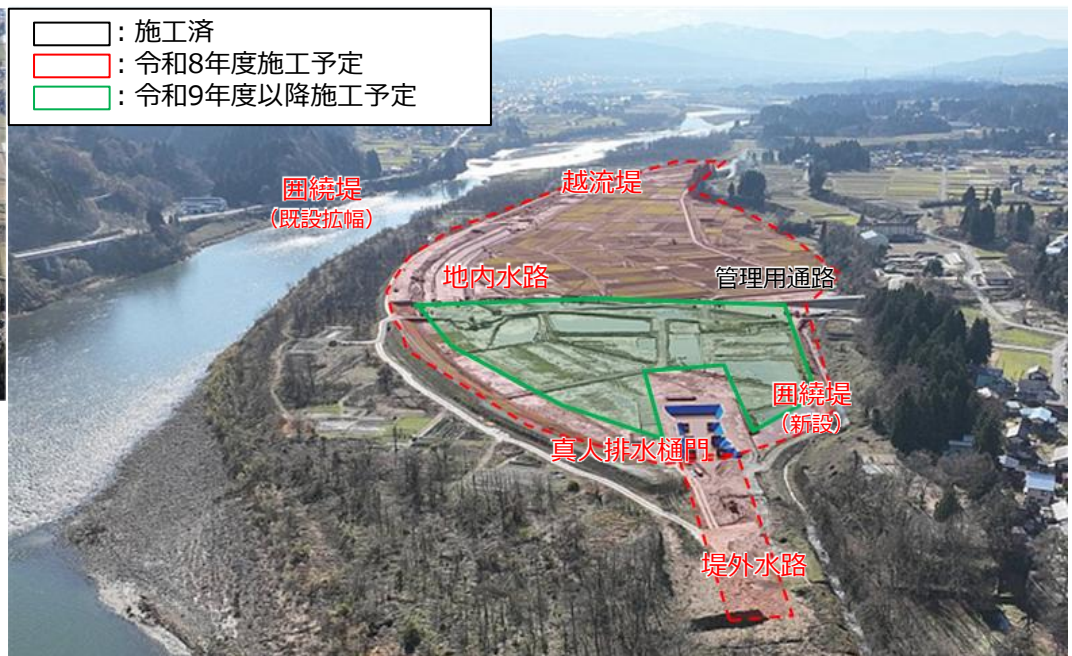


## 信濃川 遊水地

### ⑥ 小千谷市真人町地先 まっとまち

令和元年東日本台風時に計画高水位を超過し、非常に危険な状態になったことから、洪水を一時貯留する遊水地を整備し、洪水時の水位を低下させます。

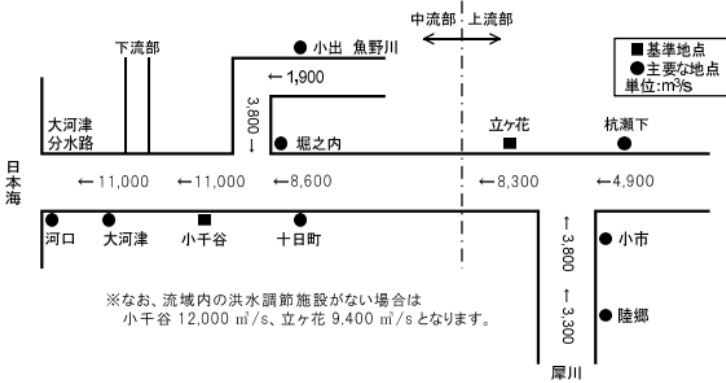
令和8年度は、引き続き囲繞堤、排水樋門等の施工を進め、新たに越流堤、堤外水路の施工に着手予定です。



# 信濃川水系河川整備計画

## 河川整備計画の目標

信濃川水系河川整備計画は今後概ね30年間の具体的な河川整備の目標や内容を示すものであり、関係住民や学識者、自治体などの意見聴取を経て平成26年1月に策定。令和4年12月には令和元年東日本台風による洪水の発生や気候変動を踏まえた目標流量の見直し、流域治水を踏まえた治水対策の見直しを行いました。



➤ 水系一貫となって、災害防止・被害最小化を図る観点から、上下流、本支川バランスを確保し、県境区間や支川・派川等については、整備に関する情報を共有するなど関係する河川管理者と連携を図りつつ水系全体として段階的かつ着実に治水安全度の向上を図ります。

➤ また、流域のあらゆる関係者と連携し、施設の能力を上回る洪水等が発生した場合においても、人命、資産、社会経済の被害の軽減を図ります。

## 流域治水プロジェクト2.0

気候変動の影響により当面の目標としている治水安全度が目減りすることを踏まえ、流域治水の取組を加速・深化させることが必要であり、必要な取組を反映し『流域治水プロジェクト2.0』に更新をしています。

### 現状・課題

- 2℃に抑えるシナリオでも2040年頃には降雨量が約1.1倍、流量が1.2倍、洪水発生頻度が2倍になると試算  
現行の河川整備計画が完了したとしても治水安全度は目減り
- グリーンインフラやカーボンニュートラルへの対応
- インフラDX等の技術の進展

### 必要な対応

- 気候変動下においても、目標とする治水安全度を現行の計画と同じ完了時期までに達成する
- あらゆる関係者による、様々な手法を活用した、対策の一層の充実を図り、流域治水協議会等の関係者間で共有する。

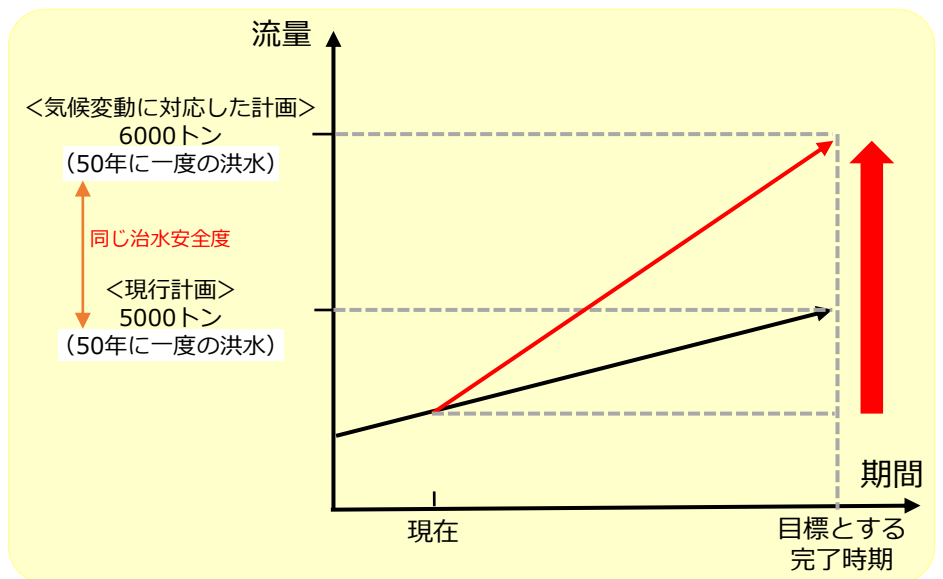
気候変動シナリオ	降雨量 (河川整備の基本とする洪水規模)
2℃上昇	約1.1倍

降雨量が約1.1倍となった場合

全国の平均的な傾向 【試算結果】	流量
	約1.2倍

同じ治水安全度を確保するためには、目標流量を1.2倍に引き上げる必要

### 必要な対応のイメージ



※現行の計画と同じ完了時期までに目標とする治水安全度を達成するため、様々な手法を活用し、集中的に整備を進めることが必要。

⇒現在の河川整備計画に基づく対策や流域における各取組を推進するとともに、気候変動を踏まえて追加で必要となる対策案の詳細については、更に議論を深めていく。

# 流域治水プロジェクト2.0

○令和元年東日本台風では、信濃川水系千曲川、信濃川で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、再度災害防止対策、事前防災を進める必要があることから、信濃川水系緊急治水対策プロジェクトに加え、以下の取り組みを実施。

○更に信濃川、魚野川の国管理区間においては、気候変動（2℃上昇）下でも目標とする治水安全度を維持するため、戦後最大規模となる昭和56年8月洪水と同規模の洪水に対し、2℃上昇時の降雨量増加を考慮した雨量1.1倍となる規模の洪水が発生した場合でも、家屋の浸水被害の防止又は軽減を図る等、更なる治水対策を推進する。その実施にあたっては、多自然川づくりの考え方に沿って、河川環境の整備と保全を図るなど、総合的に取り組む。

## ■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

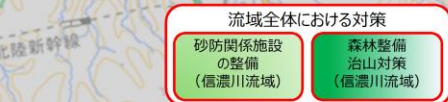
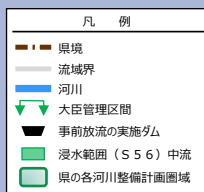
- ・河道掘削、堤防整備・強化、遊水地整備、耐震対策、災害復旧等
- ・大河津分水路改修
- ・排水機場等の整備、耐水化の取組
- ・砂防関係施設の整備
- ・水田の貯留機能向上のための「田んぼダム」の取組推進
- ・学校グラウンドなどを活用した雨水貯留施設
- ・支川水路の流下能力向上等による支川氾濫抑制、内水被害の軽減
- ・既存ダム等20ダムにおける事前放流等の実施、体制構築  
(関係者：国、新潟県、東日本旅客鉄道(株)、東京電力(株)、東北電力(株)、土地改良区等)
- ・森林整備・治山対策
- ・BIM/CIM適用による三次元モデルの積極的な活用
- ・事業間連携を通じた土砂の有効活用
- ・気候変動対応のための洪水調節機能の増強 等

## ■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・緊急復旧などを迅速に行う防災拠点等の整備（河川防災ステーション）
- ・河川、砂防、農業用ため池等の各種ハザードマップの作成・普及
- ・流域タイムラインの運用
- ・マイ・タイムライン・コミュニティタイムライン等の作成・普及
- ・小中学校における防災教育の推進
- ・住民への情報伝達手段の強化
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成に向けた支援
- ・企業等への浸水リスク情報の共有
- ・水害リスク空白域の解消
- ・洪水予測の高度化
- ・気象情報の充実、予測精度の向上
- ・「水害リスクライン・洪水キキクル」の普及・利活用促進
- ・樋門・樋管の遠隔監視
- ・ワンコイン浸水センサの普及 等

## ■ 被害対象を減少させるための対策

- ・「まちづくり」や住まい方の誘導による水害に強い地域づくりの検討
- ・高床式住まいの推進
- ・多段階な浸水リスク情報の充実
- ・立地適正化計画における防災指針の作成 等



**完了工事 (R8.3時点)**

「流域治水関連法の活用」の検討

※上記の他、気候変動対応のための洪水調節機能の増強が必要

※流域治水プロジェクト2.0で新たに追加した対策については、今後河川整備計画の変更の過程でより具体的な対策内容を検討する。

※本図の浸水範囲は大臣管理区間の外水氾濫のみを想定したものである。

※本対策箇所は主要箇所のみ記載。

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。



# 信濃川の河川環境

## 河川水辺の国勢調査

○国土交通省では、全国109水系の河川で「河川水辺の国勢調査」を行い、川にすんでいる生物や、川を訪れる人々の利用の仕方を調査しています。

○毎年順番に「魚類」「底生動物」「植物」「鳥類」「両生類・爬虫類・哺乳類」「陸上昆虫類等」「河川環境基図作成」「河川空間利用実態」の調査を行っています。

令和8年度は「底生動物」の調査を行います。

令和7年度の「陸上昆虫類等調査」で確認した種の一部



ツバメシジミ



チョウトンボ



ヤマトアシナガバチ



コガムシ



オオカマキリ

※「河川環境データベース」で調査結果をご覧ください。

## 信濃川中流域の水環境

○信濃川中流域では、信濃川の豊富な水量を利用した発電が行われており、長野県飯山市に位置する西大滝ダム地点から新潟県十日町市に位置する宮中取水ダムを経て、魚野川合流点までの約63.5kmは、河川流量の少ない減水区間となっていました。

○そのため、平成11年1月に「信濃川中流域水環境改善検討協議会」を設置、平成21年3月に「信濃川中流域の河川環境改善に係る提言」として取りまとめました。

○この提言を踏まえ、平成21年度からモニタリング調査を行っています。

※「信濃川中流域水環境改善検討協議会」の活動状況は、こちらからご覧いただけます。  
[https://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/shinanogawa\\_info/mizukan/day.html](https://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/shinanogawa_info/mizukan/day.html)

# 長岡地区河川防災ステーション

中越地区初の河川防災ステーションが令和6年6月9日にオープンしました。

位置図



信濃地区



左近町地区



信濃地区 防災ステーション



排水ポンプ車

信濃地区は、国土交通省が基盤整備や災害対策車輛庫等を、長岡市が水防センターと水防倉庫を整備し、左近地区は国土交通省が基盤整備や災害対策車輛庫、緊急復旧資材やヘリポートを整備しました。洪水時の水防活動の支援や水害発生時の緊急復旧の拠点となります。

# 総合学習

学校からの要請に応じて職員を派遣する「出前講座」や、堰などの施設見学を実施しています。信濃川大河津資料館や妙見記念館、しなの川学習館も総合学習で利用することができます。総合学習、環境学習、防災学習など、お気軽に巻末の信濃川河川事務所までお問い合わせください。



# 河川の維持管理

## 堤防除草・樹木伐採

河川巡視や堤防等点検を円滑に行い、川の中に繁茂した樹木が洪水の流れを妨げないようにするため、堤防除草や樹木伐採を計画的に実施しています。



## 公募伐採

河川に生えている樹木の伐採は、チェーンソーなどで樹木を切断し、切断した樹木は集積し、処分場へ運搬、処分という手順で行い、多額の費用がかかります。

そのため伐採費用のコスト縮減として、希望する方を募り河川内の樹木を伐採していただく『公募伐採』を一部の地域で行っています。伐採した樹木は参加者で持ち帰っていただき薪ストーブの燃料などに使われています。

### 伐採前



### 伐採後



# 河川の危機管理

いつ発生するか分からない災害に備えて、河川の状態把握に努めているほか、災害対策機械の訓練や水防対策に必要な資機材の確保、水防関係機関との連携などに努めています。

## 災害対策機械

地域防災拠点として、排水ポンプ車、照明車、衛星画像伝送装置等を配備し、毎月訓練を行って、災害に備えています。



新黒川水門 ポンプ車による排水状況(R1.10.13)

## 水防活動

河川合同巡視  
(資機材点検)



水防訓練  
(月の輪工)

# 広 報 の 取 組

雄大に流れる信濃川の魅力や「令和の大改修」による大河津分水の事業効果をより広く知っていただくため、様々な取組を行っています。

## 信濃川・大河津分水写真コンテスト

信濃川の治水事業、環境保全等の必要性をより身近に認識していただく機会として、信濃川と大河津分水を題材にした写真コンテストを開催しています。



作品は流域自治体で巡回展示会を開催



## OHKOUZU day R7.8.30

1922年8月25日に通水した大河津分水に感謝する1日として、通水100周年の令和4年度より開催。令和7年度は令和の大改修トークライブや堰の操作室等の見学会などを行いました。



## 信濃川サミット R7.11.21

信濃川流域の小学生を対象に、信濃川やその支川などについて多様な視点から深く学ぶ学習支援と学んだ内容やアイデア等を発表する機会をつくるもので、5校の代表児童が学習の成果を発表しました。



## 信濃川クイズラリー

信濃川沿線の9施設に信濃川や防災にまつわるクイズを設置し、クイズを解きながら学びを深めていただく機会として、信濃川大河津資料館を拠点に7月から12月までクイズラリーを開催しました。



## 合格通水石の配布 R8.1

「諦めなければ通ずる」という願いを込め、若手職員の手作りによる「合格通水石」と「特製カード」で、受験生を応援しました。



## 信濃川大河津資料での特別展

信濃川大河津資料館では、事業の実施などにあわせ、1年を通じてさまざまな特別展を実施しました。



## 令和8年度のイベント予定 (R8.4時点)

R8年				R9年					
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
4月：大河津分水殉職者慰霊式	5月水防フェア		7月～10月：信濃川クイズラリー	8月：OHKOUZUday			11月：信濃川サミット		1月：合格通水石配布
信濃川大河津資料館での展示									
3月～4月 大河津分水の桜	5月～6月 大河津分水の要「第二床固」		7月～9月 横田切れ130年			10月～11月 地図で見る信濃川150年の流れ		12月～1月 過去の写真コンテスト作品展	



国土交通省 北陸地方整備局  
信濃川河川事務所

ホームページから、防災に関する様々な取組を発信しています。  
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>



ホームページの防災情報では以下のような情報を見ることが出来ます。

- 防災・災害情報
- 川の防災情報
- 信濃川ライブカメラ
- 水位・雨量情報
- 危機管理型水位計情報 (冬期は休止)
- 簡易水位情報
- XRAIN(高性能レーダ雨量計ネットワーク)【拡大試行版】
- 災害情報
- 浸水想定区域
- 管内の重要水防箇所
- 堤防の安全度詳細点検情報
- 災害情報普及支援
- ダム防災情報提供システム

### 今起きていることを知る

#### 信濃川ライブカメラ

直近の様子が確認できます

ご覧になりたいエリアをクリック

ご覧になりたいカメラをクリック



国土交通省が運営する川の防災ポータルサイト。  
以下のように気象・河川・土砂災害等をまとめて確認できます。  
<https://www.river.go.jp/>



### 事前に備える

#### 洪水浸水想定区域ハザードマップ

信濃川（大河津分水）・魚野川の洪水浸水想定区域やリンクされている流域の各市町のハザードマップを見ることができます。

洪水浸水想定区域では氾濫が発生した場合の浸水の深さ、浸水の継続時間を確認することができるため、避難方法を考える情報として使えます。



### 出水をもたらす気象特性

過去に大きな出水が発生した気象条件を整理し、出水時の防災・避難行動の参考となるような冊子です。概要版では地域ごとの特性に合わせて注意点を解説しています。



## SNS

- SNSでは、平時には防災を啓発する活動、事務所が実施する事業情報やイベント開催などを広く発信しています。
- 防災体制時には、信濃川・魚野川に関する水位、水防活動状況、河川巡視結果などの情報を発信します。

@mlit\_shinano  
公式 X

国土交通省 信濃川河川事務所  
@mlit\_shinano  
[https://x.com/mlit\\_shinano](https://x.com/mlit_shinano)

信濃川 好太郎

信濃川 好太郎  
<https://www.facebook.com/kotaroshinano>

信濃川河川事務所

信濃川河川事務所  
[youtube.com/@信濃川河川事務所](https://www.youtube.com/@信濃川河川事務所)

mlit\_shinano

国土交通省 信濃川河川事務所  
mlit\_shinano  
[https://www.instagram.com/mlit\\_shinano/](https://www.instagram.com/mlit_shinano/)

# 事務所・出張所の位置

## 国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所

〒940-0098  
新潟県長岡市信濃1丁目5番30号  
TEL:0258-32-3020



**大河津出張所**

〒959-0123  
新潟県燕市大川津  
TEL:0256-97-2121

**長岡出張所**

〒940-0098  
新潟県長岡市信濃2丁目10番25号  
TEL:0258-32-4426

**妙見流域治水出張所**

〒940-1134  
新潟県長岡市妙見町29番地  
TEL:0258-23-1636

**十日町出張所**

〒948-0004  
新潟県十日町市下川原町16番地  
TEL:025-752-2180

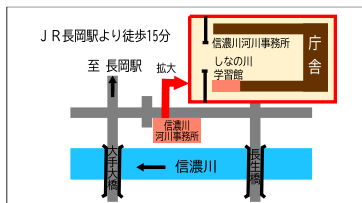
**堀之内出張所**

〒949-7412  
新潟県魚沼市与五郎新田4-1  
TEL:025-794-2064

## しなの川学習館

〒940-0098  
新潟県長岡市信濃1丁目5番30号

- 開館時間／9:00～17:00
- 休館日／土・日・祝日  
※年末年始(12月29日から1月3日)
- 入館料／無料



信濃川にまつわる様々な資料を展示しているほか、信濃川に関する図書なども常設しています。



## 信濃川大河津資料館

〒959-0124 新潟県燕市五千石  
TEL:0256-97-2195

- 開館時間／9:00～16:00
- 休館日／毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)  
※年末年始(12月29日から1月3日)
- 入館料／無料
- URL／<https://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/>



大河津分水の歴史と役割をパネルや映像、展示模型から学ぶことができます。  
また、防災に関する情報も発信しており、防災教育を含めた総合学習に利用できます。



## 妙見記念館

〒940-1134  
新潟県長岡市妙見町29番地  
TEL:0258-23-1636

- 開館時間／9:00～16:30
- 休館日／土・日・祝日  
※土、日、祝日でも事前に予約いただいた場合には、開館いたします。  
※年末年始(12月29日から1月3日)
- 入館料／無料
- URL／[https://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/myoken\\_k/](https://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/myoken_k/)



信濃川と私たちの暮らしの関わりや、妙見堰の役割を紹介しています。

## にとこみえ～る館

〒940-2501  
新潟県長岡市寺泊野積  
TEL:0258-89-7105

- 開館時間／9:00～16:00
- 休館日／毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)  
※年末年始(12月29日から1月3日)
- 入館料／無料
- URL／[https://x.com/nitoko\\_mieru](https://x.com/nitoko_mieru)



「令和の大改修」と言われる大河津分水路改修事業の工事見学や防災について学ぶことができます。また、にとこコンシェルジュによる解説、AR・VRによる事業説明、シアタールームで映像体験等もできます。